

会 議 録

会議の名称	平成26年度 第3回文化財審議会
開催日時	平成27年3月25日(水) 15時00分～16時30分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	吉川節男委員、大久保善郎委員、塩入たま江委員、松本伸行委員、 佐々木真理子委員、杜多堯慶委員 事務局（友光生涯学習課長、堀主査）
欠席者	川端正則委員
会議次第	1. 協議 （1）今年度の文化財審議会計画について （2）報告事項 ①水子貝塚公園復元住居修理について ②その他 2. その他
会議資料	・指定文化財候補一覧 ・文化財総合目録調査カード一覧
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議録確認	吉川委員

会議内容

あいさつ（議長）

1. 協議

（1）市指定文化財候補の選定・検討について

事務局：指定文化財候補の選定について、前回の資料に加え、現在、市内の文化財を把握する目的で調査されている文化財目録調査資料も集められているので、その中の資料も含め検討していただきたい。

委員：市内では、近年、開発が増加している。開発等によってまず消えていく可能性が高い文化財は樹木等の自然であろうから、まず最初に自然を指定したほうがよいのではないか。

委員：例えば、ハンノキは昔の水田地帯などではよく見ることができたが、今ではほとんど見られない。また、ミドリシジミという絶滅危惧種の蝶は、このハンノキの周辺でしか生息できないと聞いている。

委員：市役所にあるナツメの木も、鶴瀬駅開業1周年を記念して植樹され、ここで100年を経る。市民からの残してほしいとの要望で現在の位置に移されたことを考えると候補に入れてもよいのではないか。

委員：古文書の類は保存管理が難しく、個人での管理には限界があると思う。個人で所有しているものについては特に保存状況が懸念される。

委員：貴重な文化財の中から一概に指定候補を選定するのも難しい。ただ時代が古いからというだけでなく、市内には伝説や由来が幾つかあるが、それらと併せて指定したほうがよいと思う。

委員：例えば、「鶴」と「馬」の絵などは、鶴馬の名の由来に関連するとの言い伝えもあり、面白いと思う。

委員：「お船山」も勝頼地域にはお船山伝説として残され、地元で説明版が設置されている。

委員：大応寺の山門も建立は古く中世まで遡るとも言われている。水子地域では昔から山門も含めた風景として馴染んできたもので、古くからの言い伝えも残されている。吊鐘は現在新しいものが吊られているが、戦時中に供出したため戦中に代わりに安定をとるためにセメント製の鐘は境内に残されている。

事務局：今回、資料としてあげただけでも300近い有形・無形の文化財がある。この中から指定候補を絞り込むには、その地域にどれだけ深く関係しているかを踏まえたものを含めて検討する必要がある。意見のあった伝説や由来に関連するものも、そのひとつで、これまでの資料から由来や伝説と関係したものに絞ってまとめるので、ご意見を伺っていきたい。

（2）報告事項

①水子貝塚公園復元住居修理について

事務局：平成25年度から1軒ずつ修理する計画で、26年度については第2号復元住居を修理することとなっている。現在、解体～小屋組み～茅葺と順調に進んでいる。昨年度修理を実施した15号住居と同様にやはり柱や壁柱など、直接地面に触れている部分の腐食が著しく、修理後は直接触れないような形で修理を実施している。

②その他

- ・水子貝塚資料館企画展について

企画展テーマ：「縄文中期の大転換」

開催期間：平成27年3月7日（土）～5月10日（日）

次回会議

次回の日程については、6月を目途に日程を調整する。

